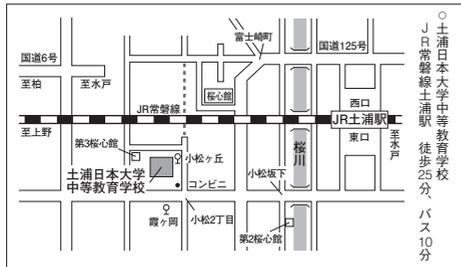


つちうらにほんだいがく  
**土浦日本大学中等教育学校**

〒300-0826 茨城県土浦市小松ヶ丘4-46 ☎029-822-3386(代) 029-835-3907(情報入試) 学校長 堀切 浩一



〈URL〉 <https://www.tng.ac.jp/sec-sch/>  
 〈E-mail〉 [sec-sch@tng.ac.jp](mailto:sec-sch@tng.ac.jp)

**沿革** 昭和38年(1963)日本大学の附属高校として土浦高等学校設立。翌年、土浦日本大学高等学校と改称。平成15年(2003)土浦日本大学中学校が開校。同19年(2007)土浦日本大学中学校を廃止し、茨城県初の中等教育学校として土浦日本大学中等教育学校が開校。

**校風・教育方針**

入学から卒業まで一貫した教育のもと、6年間かけて、生徒の可能性を着実に引き出し、世界で活躍するリーダーを育むことを目指します。教育方針は、「多様化する世界において格差を乗り越え、国際社会に貢献できる人材の育成」。さらに未来で豊かに生きるには、集団における自らの役割を認識して集団に還元することが大切であると考え、教育目標は「卓越性」「公正性」「相互依存」という言葉で示しています。

**カリキュラムの特色**

高校受験のための勉強の負担がない6年一貫教育のメリットを生かし、6年を2年間ごとに3つのターム(Foundation Term〈1・2年〉/Academic Term〈3・4年〉/Bridging Term〈5・6年〉)に分けています。1年次は校長が担当する対話型の授業「グローバル・エシックス」を通して多様性の理解と思考力やリテラシーを育成。各タームの到達目標とリンクした宿泊をとまなう国内研修・海外研修、教科学習、総合学習は、「調査→分析→整理→理解」を進める「リサーチ学習」に

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



よって、学習内容を確実に身につけます。このように、様々な視点から多角的な知が育まれていきます。

教科では英語学習に力を入れ、様々な国籍の外国人教師と経験豊富な日本人教師の指導により実践的な英語スキルを磨き、海外研修によって異文化を理解し共感しあえる教養を身につけます。理科は実験を重視し、レポート作成やプレゼンテーションを通じて論理的な考察力を養います。情報教育は、全員がタブレットPCを使うICT教育を実践します。ICTの高度な技術を身につけ、調べ学習やレポート作成、プレゼンテーション、理科実験データの分析にもPCを活用しています。

またクラス分けは、各学年で理系インタークラスとリベラルアーツクラスを設置し、理系インタークラスでは基礎となるリベラルアーツに加え専門性や実践性も学ぶこととなります。

**国内研修・海外研修**

国内研修は1年次に蓼科研修、京都・奈良研修、3年次に広島研修を実施します。蓼科研修で土浦日本大学中等教育学校の生徒としての自覚とスタディスキルを形成。京都・奈良研修では日本の歴史・文化への理解を深め、それを英語で伝える力を養成します。広島研修では近代日本の歴史学習と世界平和を考えます。

海外研修は2年次にイギリスで約4週間の寮生活を体験。実践的な英語コミュニケーション能力を育むとともに、精神的自立を促します。4年次にはアカデミックな環境が整ったケンブリッジで3週間の研修を実施。リサーチ学習を取り入れ、

1学期制 登校時刻 8:40 昼食 カフェテリア 土曜日 授業

滞在中の調査に基づいて帰国後に論文を作成し、オープンハウスで発表します。

**グローバル・エシックス**

1年次の校長先生による「グローバル・エシックス」の授業では、身近で解があるかどうか分からない問題に対して、自分はどう思うかを示し、そして学年の仲間はどのように思っているのかを知ること、いろいろな意見があり、少数派を尊重しなくてはならないことを学びます。これは多様化した国際社会で貢献するための人材、グローバルリーダーに必要な世界観・価値観を身に付けるための第一歩となっています。

**環境・施設設備**

校内施設は安全で機能的、かつ心地よい空間作りを心がけています。全館LAN対応でネット

ワーク化され、オーラルコミュニケーション室や400席のセルフスタディールームを備えた図書室、充実した設備を誇る理科室など、効率的に学習を進めるための環境がそろっています。また、校外施設として蓼科林間学園を設置しています。

**学校行事、クラブ・サークル活動**

オープンハウス(文化祭)、スポーツデイ(体育祭)、地域奉仕活動、スポーツ大会、芸術鑑賞会など、様々な学校行事があります。日ごろの学習成果を発表する秋のオープンハウス、クラスが一致団結する合唱コンクールは、伝統行事として定着しています。

クラブ・サークル活動では、運動系13団体、文化系12団体が活動しています。切磋琢磨しながらお互いを高めていく気風を確立し、社会性や連帯性を身につけています。

**データファイル**

**2025年度入試日程**

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
ICAP	20 9/4~9/18	10/5	10/25	11/1
ACE		10/5	10/8	10/11
CSAT	5 11/5~11/19	11/23	11/29	12/20※
ICL	60 11/12~12/3	12/7	12/10	12/13
ISAT	20 11/26~12/10	12/14	12/20	1/25※
KBT①	30 12/4~12/25	1/9	1/11	1/17※
KBT②・帰国	5 12/13~1/17	1/23	1/25	2/6

※は2/6まで延納可

KBTは校内の他取手会場あり。CSATは取手会場・守谷会場・つくば会場で実施。

**2025年度選考方法・入試科目**

- 【ICAP】パフォーマンス方式かなぞ解き方式、面接(グループ)
- 【ACE】リスニング主体の問題、英語面接
- 【CSAT】I型(国語・社会総合)、II型(算数・理科総合)(各100点45分)
- 【ICL】書類、面接(グループ)、総合学力試験(100点60分)
- 【ISAT】I型(国語・社会総合)、II型(算数・理科総合)(各100点45分)、面接(グループ)
- 【KBT】国・算(各100点45分)、理・社(各50点計50分)
- 【帰国・国際生】英(100点45分)・面接(生徒保護者別々)か国・算(各100点45分)・面接(生徒個人)

**2024年春併設大学・短大部への進学**

5年次と6年次の「基礎学力到達度テスト」の標準化点と後期課程の評定、特別活動等人物評価を参考に、日本大学の各学部部に推薦します。日本大学-37(法4、文理2、経済3、商5、芸術2、国際関係1、危機管理2、スポーツ科0、理工9、生産工1、工0、医0、歯1、松戸歯0、生物資源科5、薬2)

日本大学短期大学部-1(ビジネス教養)

**2024年春卒業生進路状況**

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
115人	102人	4人	3人	0人	2人	4人

**2024年度入試結果 男/女**

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
ICAP	10	28/26	28/26	6/20 4.7/1.3
CSAT	5	166/188	163/185	116/134 1.4/1.4
ICL	70	43/34	43/34	37/25 1.2/1.4
ISAT	20	132/158	127/152	98/110 1.3/1.4
KBT	30	116/90	113/87	81/60 1.4/1.5
KBT特待	5	34/35	28/29	16/17 1.8/1.7

**学校説明会** オンライン相談会は随時可(要予約)

学校説明会(要予約) 10/12

土曜見学会(要予約) 行事のない土曜日(年間25回程度)

**見学できる行事** 要予約

オープンハウス(文化祭) 10/26・10/27(相談会あり)

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください